

(5) 令和8年度 学校評価報告書 (目標設定)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①生徒が自ら学び続け、自己実現を可能にする確かな学力と探究力を育成する。 ②幅広い教養とグローバルな視点を基盤とした課題発見・解決能力や、自分が生きる未来を考える力を育成する。	①全ての教科で探究的な学びの機会を設定し、生徒が探究の過程を繰り返し経験できるようにする。 ②全ての生徒に対し、多様な学習機会を提供し、課題発見・解決能力の育成に努める。	①「緑の探究」との往還を意識した教科指導となるよう、探究テキスト活用の呼びかけや職員向けの研修を実施する。 ②外部機関と連携した講演会や連携企業との交流を通して、様々な分野に触れる機会を提供する。	①生徒による授業評価及び教員のアンケート等により達成状況を把握する。 ②多様な学習機会を生かし、生徒自ら、課題を見つけ、解決に向け取り組んだか。自分が生きる未来を考える力の育成につなげることができたか。
2	生徒指導 ・支援	①全ての教育活動において、生徒一人ひとりの意思決定を尊重し、自分も他者も等しく大切にできる力や人をつなげる場を作り出す力を育成する。 ②組織的な生徒支援を充実させ、生徒一人ひとりが安心して挑戦できる環境づくりをする。	①学校行事等、生徒が主体的に取り組む企画運営に対して互いに他者尊重に基づく対話を基に、規範意識を高めることができるようにする。 ②全職員で生徒支援のための情報を共有する意識を高め、組織的な支援体制を構築する。	①学校行事等、生徒が主体的に取り組む企画運営に対して自分も他者も大切にすることを持った対話を通し、規範意識を高めることができるように支援をする。 ②コア会議を中心とする生徒支援の体制を定着させる。職員研修を行い、様々な生徒の理解に努められるように働きかける。	①学校行事等、生徒が主体的に取り組む企画運営に対して自分も他者も大切にすることを持った対話を通し、規範意識を高めることができたか。 ②・生徒情報の共有状況 ・コア会議の実施状況 ・研修の実施状況
3	進路指導 ・支援	①生徒が自身の生き方や社会のこれからを考える契機となる学びの機会を設定し、主体的に目標・見通しをたてることを支援する。 ②生徒が自ら選んだ進路の実現に向けて、あきらめずに自己効力感をもって取り組めるように全職員で連携して支援する。	①3カ年を段階的に見通したキャリアガイダンスの内容をいっそう深化させる。 ②全学年それぞれで保護者向け進路説明会を実施し、保護者へのサポートを強化する。	①進路に対して具体的な見通しを立てられずにいる生徒への支援につながるキャリアガイダンス・面談を実施する。 ②保護者向け進路説明会では、各学年の実情に即した分かりやすいデータを提供する。	①キャリアガイダンス・面談を通じて、具体的な進路の見通しを持てるようになった生徒が増えたか。 ②各学年それぞれで保護者向け進路説明会を実施できたか。その参加人数。保護者にとって理解しやすい内容であったか。
4	地域等との 協働	①地域や家庭と協働し、信頼される学校づくりを推進する。 ②外部機関や後援組織との連携を深め、学校教育の支援体制を充実させ、社会に貢献できる人づくりを目指す。	①本校の教育活動の様子を積極的に発信し、地域や保護者の理解を得る。また、緑高セミナーや地域の行事への参加等により連携を深める。 ②外部機関との交流を深め、生徒の充実した学習活動の機会を提供する。	①本校ホームページで情報発信を行う。また、地域の行事に希望生徒や教科、部活動単位で参加し、社会とのつながりを考える機会とする。 ②SSH事業において、新たな連携・協力機関を増やし、活動の幅を広げる。	①情報発信 ・更新頻度 地域行事への参加 ・参加生徒数 ・地域の方の意見 ・生徒の振り返り内容 ②連携企業・団体の数や交流した内容の過去との比較など。
5	学校管理 学校運営	①学校目標の達成に向けて、学校運営に全職員が主体的に参画するとともに、安全・安心で信頼される学校づくりに引き続き注力する。 ②職員一人ひとりのWell-Beingを大切にしたい働き方の実現を目指す。	①グループ業務等を通して、学校運営に全職員が主体的に参画する。 ②オフィス改善により生まれた場所を有効に活用し、安心して働きやすい環境を実現する。	①グループ業務等において、様々な工夫をこらして担当業務を円滑に進める。 ②オフィス改善での改善点と使用方法について意見を集めながら、最適な働き方を検討する。	①担当業務の工夫・改善が図られたか。 ②・オフィス改善以降の利用状況の変化 ・教職員からの意見収集とその改善状況